



ら び っ く La・BOOK

4月号
No.34

中央図書館の 原田マハさん講演会

3月15日(日)、原田マハさんを講師にお招きして、「人生の宝物-私が導かれたアートと文学-」と題して、穂高交流学习センターで開催しました。

原田さんは、『カフーを待ちわびて』『楽園のカンヴァス』など多数の著作で有名な作家です。



原田さんは、こどもの頃から親しんだ文学作品や絵画との運命的な出会い、携わってきた美術館での仕事をたどりながら、「私にとって、『アートと文学』は、人生の友達であり宝物でした。そして、この2つが自分の人生の宝物としてこれからも輝き続けると思います。」とご講演いただきました。

約200人の聴講された参加者からは、「楽しいお話で自分の人生の宝物は何かと改めて考えさせられました。」「自分の人生を今一度輝かせてみたいと思いました。」と、原田さんの講演に魅了された様子でした。

H27年度 図書館サービスをより拡充します!

- 1 市制施行10周年記念図書館フェスタをはじめとする全館統一事業の充実を図ります。
- 2 新堀金図書館(平成28年度開館)、新三郷図書館(平成27年度仮移転、平成29年度中開館予定)に向けて、市民の意見・要望を反映させながら準備を進めます。
- 3 安曇野市アウトソーシングに関する指針に基づき、図書館運営の効率化、サービス向上を図るため、アウトソーシングの検討を行います。
- 4 あなたの知識と感動を貯める「読書通帳」を配布します。(5月1日から)

私と図書館

豊科図書館 奮闘! 調べもの日記(シファレンス)



その昔、豊科熊倉地区では犀川の川幅が最も狭い地点に『熊倉橋』が架けられ、松本藩の交通の要所となりました。しかし、洪水の度に橋が流され、幕末には修復が追い付かず、明治以降は渡し舟へと変わりました。舟は两岸に鉄線を渡しそれに沿って縄が張られ、滑車をつけた舟で縄を手繰り往來していたと記録されています。

渡し舟は昭和30年頃まで利用され、平成3年には犀川左岸に渡し場の記念碑が建ち、近くの春日神社には実際に使用していた渡し舟が保存されています。

渡し舟は昭和30年頃まで利用され、平成3年には犀川左岸に渡し場の記念碑が建ち、近くの春日神社には実際に使用していた渡し舟が保存されています。

<関係資料>

『熊倉の歴史』 熊倉歴史編纂委員会編 2007
 『南安曇郡誌 第2巻下』 南安曇郡誌改訂編纂会編 1968
 『豊科町誌 歴史編・民俗編・水利編』 豊科町誌編纂委員会/豊科町誌刊行会 1995
 『角川日本地名大辞典 20 長野県』 角川日本地名大辞典 編纂委員会編/角川書店 1990

安曇野市になり、十周年を迎えます。当初はいろいろな思いがありました。私にとって近くで図書館を利用できることが一番です。中央図書館へは、電車かタクシーでしたが、今は「あづみん」を利用でき大助かりです。旧豊科図書館職員の方に講座等でお会いすると懐かしいです。以前場所すら知らなかった図書館が割と近くにあるので有難いし、返却がどこでもよいので、嬉しい限りです。欲しいものは問い合わせ、予約するサービスもあります。

「さぼり」ができた時、「一度でいいから静かな窓辺で読書したい」という願いも叶いました。読み聞かせの機会に保育園や小学校のお子さんからパワーをもらい、図書館は今日用がある(教養)と今日行くところがある(教育)を与えてくださる大切な存在です。昔、長野市のある小学校長が話された『読書は血となり肉となる』の言葉は、忘れられません。図書館職員の皆様、健康に留意されて私たちにお力添えをお願いします。

(70代女性)



3月貸出ランキング

一般書

- 1 自覚／今野 敏
- 2 虚ろな十字架／東野圭吾
- 3 神様のカルテ 3／夏川草介
〃 満願／米澤穂信
- 5 神様のカルテ 0／夏川草介
〃 千春の婚礼／平岩弓枝
- 7 異邦人(いりびと)／原田マハ
〃 荒神／宮部みゆき
〃 サーカスの夜に／小川 糸
〃 悲嘆の門 上／宮部みゆき
〃 悲嘆の門 下／宮部みゆき
〃 村上海賊の娘 上／和田 竜

児童書

- 1 いないないばあ／松谷みよ子
〃 バムとケロのおかいもの／島田ゆか
- 3 おつきさまこんばんは／林 明子
- 4 かいけつゾロリのおちのうちゅうじん／原ゆたか
- 5 かいけつゾロリの大金もち／原ゆたか
〃 かいけつゾロリのきょうふのプレゼント／原ゆたか
〃 かいけつゾロリのじごくりょこう／原ゆたか

AV資料

- 1 崖の上のポニョ／宮崎 駿監督
- 2 コクリコ坂から／宮崎吾朗監督
〃 ドラえもん／のび太と雲の王国／芝山 努監督

4月23日～5月12日は 「こどもの読書週間」



2000年の「子ども読書年」をきっかけに、約3週間の期間になりました。4～5月にかけては、「国際子どもの本の日（4月2日）」「サン・ジョルディの日（4月23日）」などの記念日・関連イベントも多く、また、2001年12月に公布・施行の「子ども読書活動推進法」により4月23日が「子ども読書の日」となった影響もあって、「こどもの読書週間」は年々大きな盛りあがりを見せています。

安曇野市図書館でも、5月28日まで、子どもたち向けのおすすめの本を展示したり、お話をしたりしていますので、ぜひお越しい

ただき「本のなかにもおともだち」を見つけてください。



編集・発行・お問い合わせ



- | | |
|-------|----------|
| 中央図書館 | ☎84-0111 |
| 豊科図書館 | ☎71-4022 |
| 三郷図書館 | ☎76-3078 |
| 堀金図書館 | ☎72-5796 |
| 明科図書館 | ☎62-1122 |

図書館ホームページ(蔵書・資料の検索もできます)
<http://www.city.azumino.nagano.jp/tosho/index.htm>

明科図書館から

本のソムリエ(職員)おすすめ本

一般書

『日本の大和言葉を美しく話す —こころが通じる和の表現—』



高橋こうじ／東邦出版
 相手のことを慮って、言葉選びに悩んだ経験が誰にも一度はあるのではないのでしょうか。
 そんな時、使えるようにしておきたいのが、生粋の日本語「大和言葉」です。

その奥ゆかしく柔らかな響きが、普段の何気ない会話に加わることで、人間関係も柔らかく潤いのあるものになることでしょう。

この本では、役立つ大和言葉が場面ごとにまとめられています。ぜひ手に取って、参考にしてください。

児童書

『これは本』



レイン・スミス／BL出版
 パソコンが得意なロバくんと、本が大好きなサルくん。「本ってなにができるの？」本を知らないロバくんは、サルくんに本の使い方を聞きます。

サルくんの本を借りたロバくんは…？
 本の良さってなんだろう？
 アナログはもちろん、デジタルでも本が読める時代に、シンプルに問いかける絵本です。

※編集後記※

夏川草介さんの『神様のカルテ0』には「信濃富士」と呼ばれる有明山が描かれている「有明」と、堂念岳を舞台にした「冬山記」が収められています。夏川さんは「信州の景色が執筆の原動力です」と話しています。
 そんな安曇野の風景を眺めながら、木陰で本を手にするのもまたいい季節になりました。